



林 声

2018

5 月号



林業や森林の奥深さを知り、綺麗な森を守っていききたいとの思いを持って結成した6人の女性森づくりグループ「yosako (よさこ)」のメンバーの皆さんです。(代表の西岡資恵さんは左から3番目)「与作」に因んで名付けられたグループ名からも、山への熱い思いが伝わってきます。

(詳細はP 2に記載)

目 次

おかやまの森ガール・木ガール	
yosako (よさこ)	2
就任のごあいさつ	3
平成30年度主要事業の紹介	4~7
森林研究所だより	8
マツの病虫害予防	9
イベント情報(津山普及指導区)	10
狩猟免許試験のお知らせ	11
森林・林業施設の紹介	
(地蔵岩ヤッホー公園)	14

【ほっけ～木になる情報】

Q. 効率的に木材を搬出するためには路網整備が必要ですが、どのような道があるのですか。





おかやまの森ガール・木ガール
Yosako

【岡山普及指導区】

「木を知り、山に学び、時を楽しみ、時代に繋げる」を合い言葉に、岡山市、美作市を中心に活動している女性ばかりの森づくりグループ「Yosako（よさこ）」をご紹介します。

Yosakoという名前は、木こりの「与作」を女性の名前にしたものだそうです。

代表者 西岡 資恵

所 在 岡山市北区御津

一 メンバー

メンバーは、岡山市や美作市などに在住の30〜40代の女性で、現在は6名で活動しています。職業は、主婦や農業などですが、この会の活動を通じて林業や森林の奥深さを知って、会社の総務事務から林業事業体の事務員に転職した方もいらつしゃいます。

二 結成のきっかけ

平成25年に美作市で開かれた林業体験会に参加した人たちの中で、

「森という資源を守り伝えたい。」という思いを持つ女性達が、意気投合して平成25年5月に結成しました。

三 活動内容

○森づくり活動

平成25年度から4年間、「おかやま森づくり県民基金事業」を活用して、身近な里山整備に取り組んできました。29年度からは補助事業を活用せず自由な活動を行っています。

森林整備について学びながら、メンバーの家族が持つ山などで、伐採後の搬出・片付け、下刈りや竹林整備など、女性にもできる作業を行っています。時には、プロの方と一緒に山に入って指導を受けたり、自らが伐った木で名刺入れを作成したりと、自らいろいろ



プロによる伐採指導

と実践する中で感じたことを大切にしながら森づくり活動をしています。

また、毎年行っている

るクリスマスリースづくりでは、材料採取のため子供たちに森に入ってもらい、山にふれ合うことから始めており、今後も様々なイベントを通じて、「山の恵み」や「奥深さ」だけでなく、「山に手を入れることの大切さ」を肌で感じてもらうとしています。



クリスマスリースづくり

○そのほかの活動

森林整備をするだけでなく、岡山市西川緑道公園で森林に興味を持ってもらうために、薪割り・竹割体験やアクセサリーづくりのイベントを過去2回行いました。

四 活動への思い

今まで森林や林業に関わったこ



植栽の様子

とがない人が山に入ること、森林整備について認識を深め、木材はもちろん、森林で生産される木材以外のものにも目を向けて、木を使ってできる簡単なものづくりなど、無理なく身近に感じられる森づくりの形を追求していきたいです。

「私たちの祖先是、代々山を守り、山とともに生活を営んできました。しかし、今日、山は普段の生活から切り離され「面倒な資産」と言われるようになりまし

た。山や木が何年もかけて育っていくように、一過性の活動ではなく、植栽した木が育ち、何十年か先に綺麗な森になったときにも、Yosakoがあるように長く続けられる活動をやっていきたい。」と力強く語られました。

(岡山普及指導区 田畑 秀将)

就任のいあい



農林水産部参与
(林政課長)
池田 稔

万緑の候を迎え、会員の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私、この度の人事異動により農林水産部参与（林政課長）を拝命しました。誌上をお借りし一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方もご存知のとおり、森林には木材生産のほか、水源のかん養や土砂災害の防止など多くの機能がおり、これらは適切な森林整備により、一層効果が発揮されます。しかし、本県を始め全国的に境界未確定の森林の存在や担い手の不足等が大きな課題となっております。

こうした中、国においては、適切な森林の経営・管理を推進するため、森林所有者自らが経営管理できない場合に、市町村が公的管理を行う新たな森林管理システムを構築して、平成31年度から運用が開始される予定です。また、こ

れらの市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、平成30年度税制改正において、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）が創設され、税の課税は平成36年度から、譲与は平成31年度から行われることが決定されました。

本年度は、この新たな森林管理システムが円滑に実施できるよう市町村や関係者と一体となって取り組み、実施体制の準備を進めてまいります。

また、東京2020五輪大会の選手村ビレッジプラザ整備への県産材提供、CLT等の利用促進等を通じて県産材需要拡大対策を推進するとともに、新規就業者の確保や優れた現場技術者かつ指導者の育成・定着などの担い手育成対策等を推進し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させ、成長産業化につなげてまいります。

これら施策の推進にあたりましては、地域の皆様方を始め、関係機関との連携を一層図りながら進めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



治山課長
佐藤 朗

新緑の候を迎え、会員の皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

私、この度の人事異動により治山課長を拝命いたしました。紙上をお借りし一言、ごあいさつを申し上げます。

本県は、県土の約7割が森林に覆われ、「晴れの国」の穏やかな気候の下、県内一円に広く分布するマツ林をはじめ、シイ・カシなどの常緑樹やコナラ・アベマキなどの落葉樹からなる天然林、スギ・ヒノキの人工林などの多様な森林が育っています。

先人のご努力によりこれらの森林は、木材の生産、水源の涵（かん）養、洪水や土砂崩れの防止、さらには地球温暖化防止、生物多様性の保全など、さまざまな機能を有しており、私たちの快適な生活環境の創造に欠くことのできない大切な役割を担っています。

民有林の4割を占める人工林の多くが主伐可能な林齢に達し本格

的な利用期を迎える中、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮されるよう、森林の整備や治山施設の設定などを通じて、県民の皆様の安全・安心の確保はもとより、本県林業の発展に努めてまいりたいと考えております。

森林の整備については、引き続き間伐と路網整備を計画的に推進するとともに、林業経営に適した森林は、小面積の皆伐を進め、少花粉品種のスギ・ヒノキを再造林することで齢級構成の平準化と花粉発生源対策を同時に進めてまいります。

治山施設の整備については、災害発生のおそれがある荒廃森林について、緊急を要する箇所から順次整備を進めるとともに、施設の長寿命化対策に取り組んでまいります。

さらに、これら公共事業の推進と併せ、保安林の適正な管理や林地の開発指導、山火事予防対策などに努めてまいります。

これらの施策の推進には、森林所有者の皆様を始め、関係機関との緊密な連携が不可欠です。

今後とも御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。

主要事業の概要

平成30年度の森林・林業関係の主要事業をご紹介します。

県政において、最上位に位置付けられる「新晴れの国おかやま生き生きプラン」が策定され、平成29年度からの4年間で各種施策を実施しています。「生き生き岡山」の実現と「21おかやま森林・林業ビジョン」の目標達成を目指し、次の主要事業に取り組んでまいります。

●おかやまの木で家づくり支援事業

【担当課：林政課林業木材班】



木材需要の大半を占める住宅建築において、木造住宅の普及促進と、品質の安定した県産乾燥材及びC L Tの積極的な利用を推進するため、県産乾燥材またはC L Tを一定量以上使用した住宅を供給する施工業者（大工・工務店等）に助成します。

- 1 助成額 1件当たり 20万円
- 2 交付対象者 施工業者（大工・工務店等）
- 3 主な採択条件

- (1) 県内に建築主が居住するために建築される新築の一戸建ての木造住宅で、主要構造部材に8㎡以上の県産乾燥材を使用し、その使用量が木材使用量全体の50%以上を占める住宅
- (2) 県内に建築主が居住するために建築される新築の一戸建ての木造住宅で、主要構造部材に7㎡以上の県産乾燥材を使用し、かつ、床・壁等に県産材を活用したC L Tを1㎡以上使用した住宅 等

●公共空間木質化促進支援事業

【担当課：林政課林業木材班】



公共施設や学校、社会福祉施設等の公共建築物や観光地・商店街など多数の集客が見込まれる公共的な空間において、県産材を使用した床・壁の内外装や県産材製机・椅子等の木製用具、案内板やベンチ等を整備する場合に必要な経費の一部を助成します。

- 1 事業主体 市町村及び公共建築物等を整備する者
- 2 補助率 1/2以内（上限200万円/事業主体）

●C L T等利用促進支援事業

【担当課：林政課林業木材班】



公共施設やP R効果の高い施設等において、C L Tを利用した建築物の木造化、木質化及び木製品を導入する場合に必要な経費やC L Tを構造体として利用した建築物の設計に必要な経費の一部を助成します。

- <C L T利用施設等支援> 補助率 補助対象経費の1/2以内（木製品の導入については、上限100万円）
 <C L T利用建築物設計支援> 補助率 補助対象経費の1/2以内（上限350万円/施設）

●東京2020五輪大会おかやま県産材活用事業

【担当課：林政課林業木材班】



東京2020五輪大会において、（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が行う日本の木材活用リレー～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～事業に参画し、県産材の提供及び大会後の^{あと}後利用を行うに当たり、必要な木材の調達・加工等を実施します。

2017年9月時点のイメージ図/ @Tokyo 2020

●おかやまの森林・林業を支える担い手対策事業

【担当課：林政課普及指導班】

人工林の豊富な森林資源を活用して林業のサイクルを循環させ、成長産業化につなげていくためには、知識と技術を備えた優れた担い手が必要不可欠であることから、市町村等と連携した担い手対策への支援等により担い手の確保・育成を図ります。

[晴れの国おかやまの林業就業促進事業]

- 1 事業主体 県、(公財)岡山県林業振興基金
- 2 事業内容 1ターン等の就業希望者への働きかけによる就業促進への支援。
(就業ガイダンス、林業体験、情報発信等) (補助率：定額)



[林業インターンシップ促進事業]

- 1 高性能林業機械現地研修
 - (1) 事業主体 県
 - (2) 事業内容 林業関係学科の高校生等を対象とした林業技術に関する学習機会の提供
- 2 林業事業体等によるインターンシップ
 - (1) 事業主体 林業事業体等
 - (2) 事業内容 高校生を対象とした林業事業体での就業体験に係る経費の支援
(補助率：定額。10万円上限)



[地域林業の担い手サポート事業]

- 1 事業主体 市町村
- 2 事業内容
 - (1) 市町村が協議会を設置し、雇用・定住対策との連携により実施する就業相談や林業体験等の担い手確保の取組(補助率：定額。ただし、新規200万円、継続150万円上限)
 - (2) 新規就業者に必要なチェーンソー等の機材を導入する認定事業体等への支援
(補助率：1人当たり補助対象経費の1/2以内。ただし、補助対象経費20万円上限)
 - (3) 市町村が地元の自伐林家、林研グループ等の技術向上を図る研修を実施する経費を支援
(補助率：定額。ただし、伐倒技術20万円、森林管理技術30万円上限)

[林業担い手育成総合対策事業]

- 1 事業主体 (公財)岡山県林業振興基金
- 2 事業内容
 - (1) ニューフォレスター育成支援
 - ・職場内研修支援
認定事業体等の新規就業者への職場内研修への支援(補助率等：1人当たり月額5万円)
 - ・技術習得支援
認定事業体等の現場作業員が、各種技能講習を受講する経費支援(補助率等：定額)
 - (2) 安全装備等の導入支援
チェーンソー作業用防護衣、防音ヘルメット等の導入支援(補助率：1/2以内)
 - (3) 林業退職金共済制度への支援
林退共の掛金の一部助成(補助率：1/8以内)

[森林作業道作設オペレーター育成総合対策事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 森林作業道作設を推進するオペレーター等の育成研修



[現場指導者育成対策事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 林業事業体の現場指導者を対象とする、伐倒技術、指導技術等の向上のための実地研修

[林業労働安全衛生推進事業]

- 1 事業主体 林業・木材製造業労働災害防止協会
- 2 事業内容 災害防止のための巡回指導、労働安全衛生推進会議の開催への支援。(補助率等：定額)

[林業事業体経営者・指導者育成対策事業]

- 1 事業主体 県
- 2 事業内容 林業の優れた担い手の確保・育成に向けた検討会の開催

●未整備森林の解消に向けた森林情報整備事業

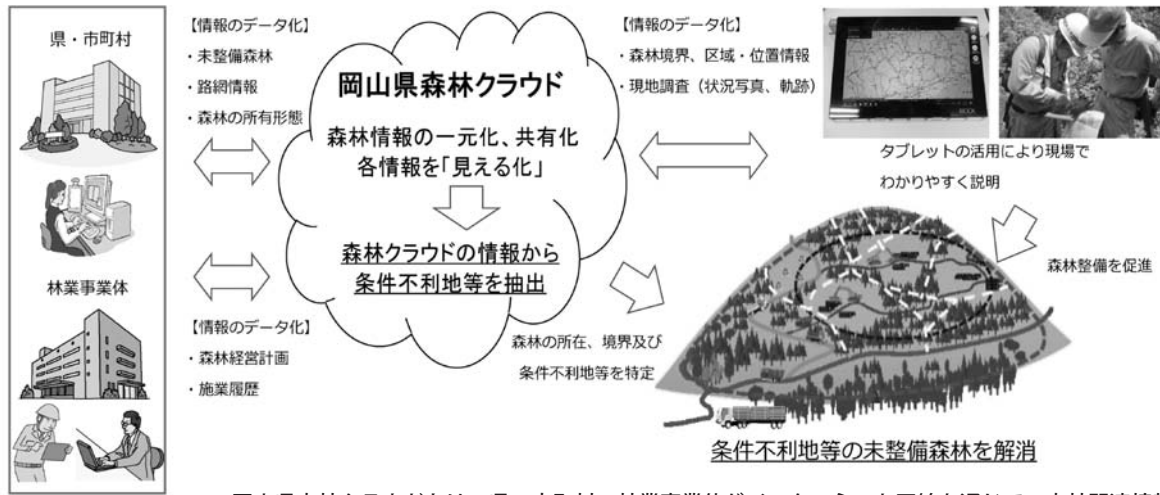
【担当課：林政課森林企画班】

森林資源の適切な管理に向け、間伐等が行われていない未整備森林を解消するためには、地理的条件や路網等の森林関連情報を把握し、効率的な森林整備を進めることが必要です。

このため、未整備森林等に係るデータ整備等を実施し、未整備森林の解消を図ります。

【事業内容】

- ・路網情報等の条件不利地の根拠となるデータを整備し、森林クラウドに条件不利地や未整備森林等を抽出する機能を搭載
- ・整備の必要な森林の所在や境界の特定、所有者との合意形成等に必要な資機材の整備



※岡山県森林クラウドとは、県・市町村・林業事業者がインターネット回線を通じて、森林関連情報を更新・共有できるGISシステム

●快適森林環境創出事業

【担当課：林政課森林保全班】

荒廃した里山林等を人が心地よい姿へ整備するとともに、松くい虫やナラ枯れの被害林等において被害木等を伐採し健全な姿に再生することにより、安全で快適な森林環境を創出し、併せて森林の持つ公益的な機能の回復を図ります。



〔里山林等再生事業〕

- 1 事業主体 市町村、森林組合
- 2 事業内容 不用木や竹林の伐倒・整理、緩衝帯の整備、ベンチの設置等 (補助率：定額)

〔松くい虫被害林再生（被害松林危険木伐倒）〕

- 1 事業主体 市町村
- 2 事業内容 道路沿線等の倒木の危険性がある松くい虫被害木の伐倒・整理 (補助率：1/2以内)

〔松くい虫被害林再生（被害跡地更新）〕

- 1 事業主体 (1) 市町村、(2) 森林組合
- 2 事業内容 (1) 当年度被害木等の伐倒・整理、薬剤処理 (補助率：1/2以内) (2) 過年度被害木及び不用木等の伐倒・整理 (定額)

〔ナラ枯れ被害林再生（広葉樹利用促進）〕

- 1 事業主体 (1) 森林組合、木材生産業者等、(2) しいたけ生産者等
- 2 事業内容 (1) ナラ枯れ被害の拡大を防止するために伐採された、しいたけ原木の運搬 (定額) (2) ナラ枯れ被害の拡大を防止するために伐採された、しいたけ原木の倒木接種 (定額)

〔ナラ枯れ被害林再生（広葉樹保全再生）〕

- 1 事業主体 (1) 市町村、(2) 市町村、森林組合、(3) 市町村、(4) 市町村
- 2 事業内容 (1) 重要なナラ林等を保全するための樹幹注入 (補助率：3/4以内) (2) 被害木等の伐倒・整理、薬剤処理 (補助率：市町村 3/4以内、森林組合 定額) (3) ナラ枯れ被害木の調査 (補助率：3/4以内) (4) カシノナガキクイムシの生息密度低減のための誘引捕殺 (補助率：3/4以内)

●造林事業

【担当課：治山課造林班】

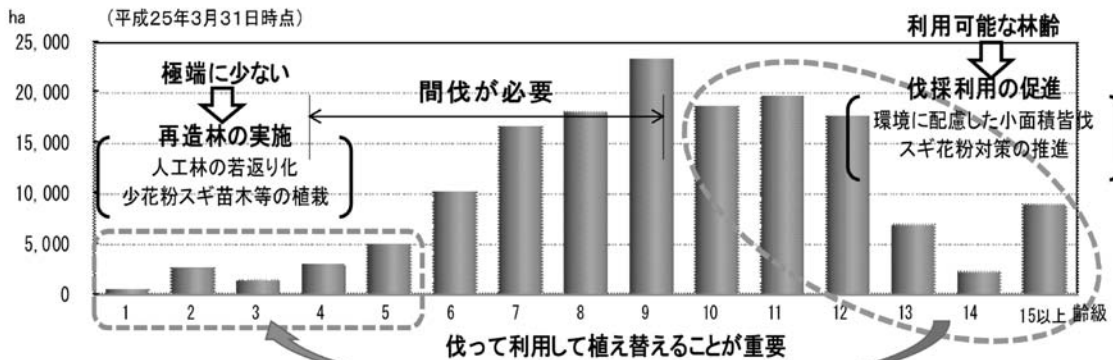


森林の有する水源涵養、地球温暖化防止などの公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐を中心とした適切な森林整備を継続的に実施するとともに、小面積皆伐による少花粉スギ等への植替えを促進し、齢級構成の平準化を図るなど、健全で多様な森づくりを推進します。

特に間伐については、平成25年度から取り組んでいる第8期間伐計画「おかやまの森づくり間伐推進5カ年計画」を平成31年度まで2年間延長し、造林補助事業や県民税事業等を活用し計画的な事業推進を図ります。

- ①造林事業【国庫】
- ②おかやま元気な森づくり推進事業【おかやま森づくり県民税】
- ③少花粉スギ等普及促進事業【おかやま森づくり県民税】

スギ・ヒノキ人工林の齢級構成



●治山事業

【担当課：治山課治山班】



山地災害から県土を保全し、森林の公益的機能の維持・向上や、良好な生活環境の保全・形成を図るため、治山施設の設置による防災対策や荒廃森林の整備を計画的に実施します。

事業名	平成30年度計画
治山事業 (国庫補助分)	42箇所
森林維持管理事業	13箇所

●林道事業

【担当課：治山課林道班】



林業経営の合理化や、間伐など森林整備の促進、山村地域の振興を図るうえで基幹的な施設となる林道の開設・改良・舗装を計画的に推進します。

・林道の現況 (平成29年度末見込)

路線数	総延長	林道密度
1,382路線	2,137 km	4.8 m/ha



森林研究所だより (平成30年度の主な研究課題)



森林研究所では、活力ある本県林業・木材産業の実現を目指すため、長期的な展望に立った試験研究を行っています。研究課題については、森林・林業・木材関係者などから広く公募するなど、地域の要請に沿った実用的な試験研究に取り組んでいます。

主な試験研究課題一覧

区 分	課 題 名	予 算 額	年 度
育 林 育 種	⑧ 少花粉スギ等の生育状況調査	560千円	30～32
森 林 保 護	シカ被害軽減に向けた防除技術の研究	900千円	29～31
特 用 林 産	菌根性きのこのコンテナ感染苗育成技術の開発	372千円	29～31
	マツタケの省力栽培技術の開発	426千円	28～30
	岡山甘栗の栽培技術の確立	390千円	28～30
経 営 機 械	軽架線集材による搬出に関する研究	506千円	28～30
	森林作業道の路体強度に関する研究	554千円	28～30
計	林業研究室 7 課題	3,708千円	
材質特性の解明	軸組耐力壁用途としての県産ヒノキCLTの性能評価	693千円	29～31
加 工 技 術 の 開 発 ・ 改 良	生産現場に適応した岡山県産木質防火材料の製造技術の開発	692千円	29～31
	乾燥木材の生産・利用段階等の実態解明と問題点の検討	816千円	29～31
	木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究	779千円	28～30
計	木材加工研究室 4 課題	2,980千円	
合 計	11 課題	6,688千円	



スギコンテナ苗



【少花粉スギ等の生育状況調査】
スギの花粉等によって引き起こされる花粉症については、国民の約3割が罹患するなど国民病となつていきます。
本研究では少花粉スギ等の苗木による植替促進の基礎資料とするため、県内に設置されているモデル林などの生育状況を調査し、その特性を明らかにするとともに苗木生産段階等における活力剤（光合成促進）の施用効果を明らかにし、育苗期間の短縮並びにコスト縮減の可能性について検討します。

主な試験研究の概要



試験機による強度の測定

【軸組耐力壁用途としての県産ヒノキCLTの性能評価】
国内で広く普及している木造軸組住宅等に、CLT（直交集成板）を耐力壁として利用するには、部材の低コスト化が課題となつていきます。
このため、従来はあまり利用されていなかった小径木など安価な丸太から製材したCLT用ラミナ（ひき板）を対象として、曲げに対する強度試験等を行っています。今後はCLTを用いた床や壁を実際に製作し、強度試験を行い県産ヒノキを使用したCLTの開発を目指します。



一 はじめに

今年も、マツノマダラカミキリが、枯損したマツから羽化脱出してくる時期となりました。

松くい虫被害の防除対策については、これまでも本誌等において紹介しており、皆さんご承知のことと存じますが、これからの時期に予防対策をしっかりと行うことが非常に大切です。

このため、今回は、松くい虫被害に加え、マツの代表的な病害の予防方法についてご紹介します。

二 松くい虫被害

マツノマダラカミキリが運搬するマツノザイセンチュウがマツを枯損させるもので、庭木等においても被害が見られます。

5月下旬から7月下旬にかけ、枯損木から脱出したマツノマダラカミキリが健全なマツの若枝を食害します。この時、カミキリムシに付着していたマツノザイセンチュウが、食害の傷口からマツ樹体内に侵入します。侵入されたマツ

は、8月下旬頃から葉が黄変し、やがて枯損します。

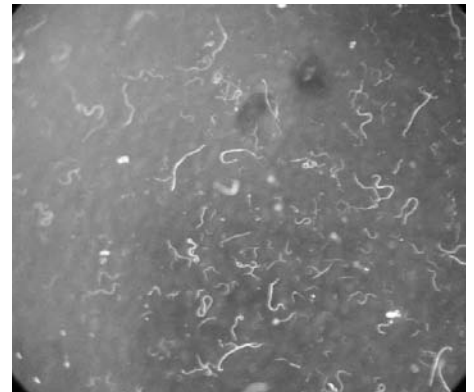
葉が黄変する前には、既にヤニの流動は止まっていることから、葉色がおかしいと思つた段階で枝先を切り、ヤニの滲出を確認することで被害を受けているか否か大まかに判断することができます。

単年度の加害で、枯損してしまふ可能性が高いので、毎年、予防対策を行うことが必要です。

予防方法は、マツノマダラカミキリの脱出開始時期の5月下旬頃と脱出最盛期の6月下旬頃の2回、MEP乳剤やチアクロプロドリド水和剤などを散布します。これにより、カミキリムシの食害によるマツノザイセンチュウの侵入数を軽減することができます。



マツノマダラカミキリ



マツノザイセンチュウ

また、マツノザイセンチュウに對して殺虫効果や増殖防止効果のある樹幹注入剤を施用することも予防対策の一つです。

三 葉ふるい病、赤斑葉枯病

他にマツの病害として、代表的なものに「葉ふるい病」と「赤斑葉枯病」があります。いずれもマツの針葉が黄色や茶褐色に変色する症状が現れます。

病気に冒され変色した葉には、糸状菌の一種である病原菌が付着しており、梅雨時期等の湿潤時に胞子を噴出、飛散し、周囲にまん延します。

胞子の飛散時期は、マツの新葉が展開し伸長する頃であり、病原菌が当年生の葉にも付着するこ

とになります。発病した葉は、翌年、同様に胞子を飛散させ新葉を冒します。こうしたサイクルにより、被害が継続して発生します。

予防方法としては、殺菌剤の散布により症状を抑えるほか、感染源を除去することが大切です。

マンゼブ水和剤や有機銅水和剤などの殺菌剤を梅雨時期から夏場の生育期を重点に月2回程度散布します。また、変色した病葉や落葉は感染源となるため、胞子飛散時期までには焼却するなど処分を徹底することが重要です。

これらの病気については、単年度で完治させることは非常に困難であり、予防対策を根気よく継続することが必要です。

四 おわりに

以上、主に薬剤による予防方法を紹介しましたが、農薬の使用にあたっては、定められた用量、用法を遵守することはもちろん、周囲の状況(家屋、耕作物など)を十分に確認するなど、慎重に行ってください。今回、紹介した内容が少しでもお役に立つことができれば幸いです。

(普及推進課 林業普及推進班)

イベント情報

森林計画制度
研修会を開催！

1 研修会開催の経緯

近年の森林法改正等に伴い、伐採及び伐採後の造林の届出制度、森林の土地の所有者の届出制度や林地台帳制度など市町村が担う業務は複雑になっています。

また、市町村では、初めて森林・林業行政に携わる担当者の方が窓口業務に携わるケースもあることから、これまでも4月には問合せ等が多くありました。

このため民有林における各森林計画制度の概要や考え方等の基本的な内容や、森林クラウドを活用した事務処理の手順等を理解してもらうため、市町村職員を対象とした森林計画制度研修会を平成30年4月27日に開催し、14名の参加がありました。

2 研修の主な内容

(1) 森林計画制度について

森林法における森林計画制度の

位置付けや、全国森林計画、地域森林計画、市町村森林整備計画や森林経営計画といった森林計画制度の体系について概要を説明しました。

(2) 森林経営計画制度について

認定権者として認定時にチェックするポイントについて説明し、改めて認定事務が適正に運用されるよう指導しました。

(3) 伐採及び伐採後の造林の届出制度について

制度の概要を説明するとともに、届出書の記載内容を確認する

ポイントや、頻繁に見られる訂正が必要となる事例を紹介するとともに、森林クラウドによる届出受理時の入力方法を説明しました。併せて、状況報告書についても提出が必要となることを指導しました。

(4) 林地台帳制度について

林地台帳制度については、来年4月から市町村が森林の土地所有者や森林資源に関する情報を整備・公表することについて説明した上で、市町村が保有する情報を追加・修正する必要がある旨を説明しました。

(5) 森林クラウドについて

市町村の担当者の業務が複雑になっていくことから、業務をより簡易で正確に進めるため、今年度から運用を開始した『岡山県森林クラウド』を活用することで、各種の情報を一元化し業務のデータ処理等が効率化できることを説明しました。

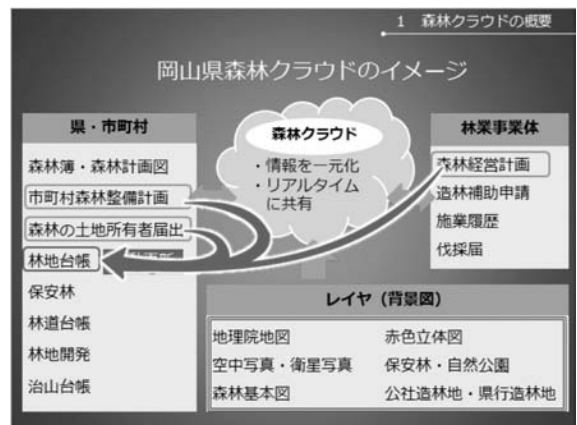
実際の入力方法と、入力した内容がどのように反映されるのかを視覚的に説明することで、森林クラウドへ登録することのメリットを体験してもらいました。



3 おわりに

津山普及指導区では、今後このような研修会を開催することで、市町村の担当者の方に各制度の理解を深めていただくとともに、市町村だけでなく林業事業体にも足を運び、森林クラウドの操作方法と、情報を登録するメリットについて理解を求めていくこととしており、引き続き、森林関連情報の見える化を進めることで一層の施業集約化につながるよう、取組を強化したいと考えています。

(津山普及指導区 梶野佑太)



平成30年度狩猟免許試験のご案内

期 日	申込期間	会 場
平成30年6月19日(火)	4月23日～6月5日	マービーふれあいセンター 所在地：倉敷市真備町箭田40-1
平成30年7月22日(日)	4月23日～7月6日	体験学習施設百花プラザ 所在地：岡山市東区西大寺南1-2-3
平成30年8月10日(金)	4月23日～7月27日	グリーンヒルズ津山リージョンセンター 所在地：津山市大田920
平成30年11月30日(金)	4月23日～11月16日	マービーふれあいセンター 所在地：倉敷市真備町箭田40-1

お問い合わせ先



受験手続き等詳細な手続きにつきましては、下記へお気軽にお問い合わせください。

- 岡山県農林水産部農村振興課鳥獣害対策室 (086) 226-7439
- 岡山県備前県民局農林水産事業部森林企画課 (086) 233-9832
- 岡山県備中県民局農林水産事業部森林企画課 (086) 434-7052
- 岡山県美作県民局農林水産事業部森林企画課 (0868) 23-1384



—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕バークガード 〔野生草食獣食害防止〕防獣ネット
 〔クズ専用除草剤〕ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕マッケンジー注入剤
 (お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
 TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
 TEL：06-6231-2819

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
 TEL 岡山(086)805-7033(代)



緑あふれる環境づくり



本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
 TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
 大阪営業所 津山営業所 水島営業所



CT-500C
・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa


高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社


津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
http://www.mitsuyoshi.com/

皆伐・再造林促進支援事業のご案内

岡山県森林組合連合会




「伐って・使って・植えて・育てる」 ～林業経営を応援します～



再造林費については ha 当り上限 10 万円、
下刈り費は上限 5 万円を 5 年間助成します。
詳細につきましては、当連合会各支所又は
最寄りの森林組合へご相談ください。

(※森林組合の連絡先等は
岡山県森連ホームページにあります。)





「緑の募金」

ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間
4月1日～5月31日

秋のみどりの月間
10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225

中国銀行岡山駅前支店 1852041

トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット グリーンフォーム 〔切土軟岩用〕 	間伐材利用植生マット 森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生マット 森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	間伐材利用生分解型植生シート 張りウッド 〔盛土用〕 	間伐材利用植生シート ハリシバモック 〔盛土用〕 
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



「岡山県エコ製品」の認定を受けた 5 品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり

Nihon 日本植生株式会社

http://www.nihon-shokusei.co.jp/

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

ほっけー木になる情報

A・林道・作業道等の路網は森林施業を効率的に行うための林業の最も重要な生産基盤であり、通行を想定する車両・林業機械に応じた道を適切に組み合わせた路網整備を実施することが重要です。

道の内容は次のとおりです。

○森林作業道

森林所有者や林業事業体など、特定の者が森林施業を行うために作設するもので、主として林業機械（2t積程度の小型トラック等を含む）の走行を想定したものです。



森林作業道

○林業専用道

森林施業のために利用する恒久的な公共施設で、主に10t積程度のトラックの走行を想定して作設します。



林業専用道

○林道

原則として不特定多数の者が利用可能な恒久的公共施設で、森林整備での活用はもとより、一般車の通行も想定しており、生活環境の改善や災害時の迂回路としての活用など地域インフラとしても利用されています。



林道

このように、目的に応じた路網を整備することが重要です。

路網に関するお問い合わせは、お近くの県民局森林企画課または森林整備課へお尋ねください。

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360



安心と信頼の証を届けます



JQA-QM8203



RO99

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
■東京営業所 〒201-0903 東京都江戸市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

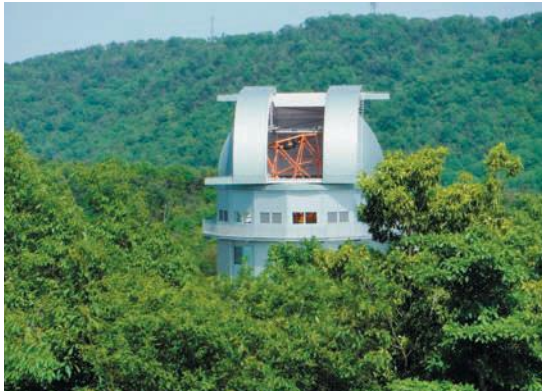
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

林声

平成三十年五月一日（第四五九号）
（隔月一日発行）



建設中の「せいめい」

「地蔵岩ヤツホー公園」を
小田郡矢掛町南山田にある、「地蔵岩ヤツホー公園」をご紹介します。
この公園は、竹林寺山の北側にあり、森のシンボルである地蔵岩を中心とした森林公園です。
地蔵岩とその周りの岩には、修験者が彫ったと見られる仏教の經典の文字が確認されています。
また、「天文台コース」を辿り、竹林寺山の頂上に出ると、現在建設中の光学赤外線望遠鏡「せいめい」も間近で見ることができま

森林・林業施設の紹介

「地蔵岩ヤツホー公園」

散策道も整備され、気軽に森林浴を楽しむことができます。ぜひ、森林から宇宙までつながる公園を訪れてみてください。



「地蔵岩」(豆腐岩とも言う)



整備された散策道

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 〒700-8750 岡山市北区内山下二一四一六

(井笠普及指導区)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225 円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375 円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約 350 円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約 620 円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10% + 古紙70%)

R70